

令和2年度 京都市歴史資料館評議委員会議 議事録

1 日時 令和3年3月25日(木) 午後3時～午後4時30分

2 会場 同志社大学 新島会館2階 E室

3 出席者

評議委員：荒木かおり，宇佐美英機，片山真理子，坂本博司，竹村佳子，
武川寛

京都市：文化市民局文化芸術推進室 山口担当部長，文化財保護課中川課長
歴史資料館 井上館長，中村次長，田頭，松中，秋元，吉住，野地

4 欠席者 評議委員 玉城玲子

5 傍聴者 なし

6 議事運営

(1) 開会

【京都市】

本日は年度末のたいへんお忙しいところお集まりいただき誠にありがとうございます。

只今から令和2年度京都市歴史資料館評議委員会議を開催させていただきます。まず、最初に、令和元年度京都市歴史資料館評議委員会議につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止をはかるため、お集まりいただいていた開催は見送らせていただき、書面により御意見をいただくかたちとなりましたことをまずお詫び申し上げます。

さて、本日の会議につきましては、京都市市民参加推進条例第7条に基づき、公開とさせていただきます。

それでは、開会にあたりまして、ご挨拶申し上げます。

(2) 開会あいさつ

【京都市】

年度末のお忙しいところ、当館評議委員会議に御出席いただきまして厚く御礼申し上げます。現在、最大の関心事である新型コロナウイルス感染症問題は、歴史資料館におきましても入館者数等に非常に大きな影響を被っております。京都では、令和2年4月16日から5月21日、この間36日間非常事態宣言が出され、当館では4月7日から5月17日の間、閉館の処置を致しました。また、本年1月14日からの二度目の非常事態宣言の間は、閉館することなく、感染対策をしっかりと出すということで開館は致しましたけれども、入館者数には大きな影響がございましたことを申し上げます。

さて、本日は令和2年度の歴史資料館の事業の実施状況、また令和3年度の事業計画などを報告させていただき、御理解をいただくという予定であります。

京都市では、令和3年度から新型コロナウイルス対策ということで、財政再建の問題に取り組まなければならないとなっております。それに伴いまして公共事業の先送り、市主催

イベントの休止や廃止など、様々な財政改革がすすめられております。そのような中から様々な努力を重ねながら、当館の設置趣旨でございます「京都の歴史に関する資料の保存、及び活用による市民の文化の向上及び発展」、これをしっかりと守って邁進して参りたいと考えております。当館には約13万点にもものぼる古文書を始めといたしまして美術工芸品、民俗資料、こういったものを収蔵しております。また、一般市民の皆様方、そして日本の、世界の研究者の利用に供しておりますけれども、収蔵品の検索のデジタル化がなかなか進んでいないこともありまして、一刻もその状況を改善、解消するためにデータのデジタル化を現在進めております。当館には、施設面の課題などまだまだございますが、小課題を克服する取組を進めるのはもちろん、市民の皆様の関心を高める取組も進め、歴史資料館の利用、来館者の増加につなげまして、より一層市民、あるいは国民の皆様の文化の向上、発展に役立つ施設となるよう努力して参りたいと考えております。

本日は、会議におきまして、皆様から様々な御忌憚のない御意見を賜りまして、今後の取組に活かして参りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(3) 出席委員・出席者の紹介、配付資料の説明

(4) 令和2年度事業報告説明、質疑

(資料3に基づき説明)

【評議委員】

マイクロフィルムの修理の件。これは劣化したフィルムを洗いにかけて、デューブをとったということでしょうか？

【京都市】

その通りです。劣化が特に進んでいるものの洗浄を行いまして、そのうえでデューブを作成しました。

【評議委員】

その点ですが、デューブをとってもまた劣化してしまうので、それを電子化(デジタル化)するという方針はありますか。

【京都市】

具体的な工程には入っておりませんが、そういうことをやろうとなった時に、修復したフィルムが使えると考えています。そのための前提としてデューブの作成を行っています。

【評議委員】

マイクロフィルムのリーダープリンターをメーカーが作らなくなるとか、CHの紙を作らないという状況になっているので、フィルムを持っていても、長期保存としてはいいけれども、長期的にはどうしようもなくなってくるということがどこの施設でも困っています。予算を取って電子化する方向で考えていった方が保存ということを考えるとそちらの方がいいと思います。お金はかかります。(マイクロフィルム)1本600コマを電子化するのに、高いところだと3万円くらいしますので、すぐにできることではありませんが、長期的には考えておかないといけない問題だと思います。

【京都市】

貴重な御意見ありがとうございます。現在、歴史資料館では、マイクロフィルムの修復の予算を何とか工面して捻出している状況ですが、一方で、古文書調査事業の一環で既存のマイクロフィルムからデジタル化することも少しずつ進めています。かつては地域や個人宅で保管されていた古文書がその後散逸するなど、現在ではマイクロフィルムとしてしか確認できない古文書も少なくありません。デジタル化も含めて、活用できるようにしていきたいと考えています。

【評議委員】

Facebook を開設したということで、こまめに更新もされていて画期的なことだと思っています。今回の展示(名品展)も素晴らしいので、ホームページの改善も含めて、このようなツールを活用して、どんどんアピールされるとよろしいかと思います。

文化財の修復に関わっている関係で、古写真を参考にしたいことが多くあります。このような古写真がどこにあるのかということがわかりにくいので、デジタル化されて、リストが公開されるなど、どのような資料が、どこにあるのかということをもとめて見られる状態にしていただけると有り難いです。

予算のこと、人材のことなど問題は多いと思いますが、せっかくの宝をたくさんお持ちなので、何がどこにあるのかということを広く公開していただければ、もっと活用されるのではないかと思います。

【評議委員】

写真のことで、サンフランシスコ公共図書館をネットで利用しているが、ここには古写真のコレクションがあり、これは世界中どこからでもアクセスできるようになっています。正式に使用する場合には有料で申請が必要ですが、そのような利用の仕組みになっています。長期的に、このような古写真を公開している施設を参考にして、古写真を利用できるようになるとよいと思います。また、鶏卵紙の写真の修繕もお金がかかるが、いい写真があるのであれば予算を取られたらよいと思います。

もう一つは、叢書京都の史料です。資料を活字化していただけるのは有り難いのですが、次にどのような資料を叢書として刊行するのか、(外部から)リクエストを受け付けてくれるような仕組みがあるとよいと思います。他の所の資料で、京都のことを研究している人たちが、叢書にしてほしいというものをリクエストできると有り難いです。

【評議委員】

(資料3の7)「資料の供用・普及」について、(市民からの)相談を受けているということですが、どのようにされていますか？具体的な資料、所蔵資料などをリクエストしたら見せていただけるのでしょうか？

【京都市】

一般的な図書につきましては、2階の閲覧室で御覧いただけますし、閉架のものも出してきて御覧いただけます。それ以外の資料につきましては、目的なども伺いながら、申請していただいて、閲覧していただくというように極力対応するようにしています。

【評議委員】

いわゆる研究者が調査の依頼をして、対応するということですね。

【京都市】

はい。ただ、研究者だけではなく、地域の方々なども対応させていただいております。

【評議委員】

わかりました。歴史資料館では、そのような(歴史相談や資料公開の)スキルをお持ちなので、広報されたり、そういった機会を広げて、イベントのようにされると、もっと裾野が広がるのではないかと思います。

【評議委員】

私は、開館当初、歴史資料館におりましたけれども、その頃に比べまして、事業の質・量の増加に大変驚いています。マイクロフィルムの話で、原本がなく歴史資料館のマイクロフィルムしか残っていない古文書があるのは確かだと思います。デジタル化もそういった資料を優先するべきと思いました。市史(『京都の歴史』の編纂)と連動した調査でしたので、町内会や市民へのアフターケアがしにくいという問題があるのだらうと思います。

それから、地蔵盆の道具が寄贈されたということですが、それは、その町内の地蔵盆がなくなったと理解してよろしいのでしょうか。

【京都市】

はい。お子さんがいらっしゃらないので、もうできないということで、この機会にというお話でした。

【評議委員】

ひとつは、マイクロフィルムのデジタル化ですけども、デジタル資料は保存という点では向かないが、閲覧という点では活用できることから、有効に閲覧に活用していただいて、将来的にはホームページからでも見られるような形にさせていただけたらと思います。

もうひとつは、今、テレワークの時代になってきていますし、京都アスニーの講座を YouTube にアップされているということで、ギャラリートークをされていますが、そういった展示品を見せながら、声での説明を YouTube にアップしていただく。もちろん本物を見るのは大事ですけども、ウェブ社会になってきたら、そういう形で存在感を高めていただけたらと思います。

展示を見せていただいて、こちらの資料館で収蔵されているものは立派なものがあって、こんな小さな建物で意外にいろいろとお持ちになっているということを第1回の時にも感じました。ですので、こういう機会にどんどん収蔵品を市民にアピールしていただきたいです。

【評議委員】

経営の視点からの意見ですけども、資料を見ますとだいたい(来館者数が)毎年1日平均80人前後だと思いますけれども、前回の京都市の文化財展は異常値ともいえる数字が出ていると思います。この違いには何があったのか。展示の内容が違うのか、それとも関心と呼ぶものがあったのか、そういうことをしっかりと分析して、次の企画を計画していく上で非常に参考になるのではないかと思います。素人の感覚でも文化財展は人が入る展示だと思いました。また、この時のリーフレットも、京都駅の観光案内所の入ってすぐのところに置かれておまして、非常に目立ったのかなということもあります。まだまだ、工夫の余地はあると思います。入館料が無料ですし、入館者におもねる必要もないし、また市民文化を伝承するという高い視点からの展示も必要ですけども、入館者を増やして、知名度を上げて、歴史資料館の存在価値を広めていくという視点からすると大事なことだと思います。

(5) 令和3年度事業計画説明、質疑

(6) 歴史資料館運営予算について、質疑

(資料4・5に基づき説明)

【京都市】

何かございますか。

【京都市】

一年間、歴史資料館を拝見しました。先生から申されましたように、施設が小さいながらも中身の濃い展示をしているというのが正直なところだと思います。施設が小さいこともありまして、なかなか多岐にわたる事業をしながらも、進まないということがあるかもしれません。個々の課題としまして、デジタル化や本物を見るということが必要だろうと思いますし、コロナ禍は当面続く可能性がありますので、この機会に本物を見ることとデジタルの使い分けの取組がうまくできたらと思います。フィルムデジタル化も緊急の課題だと思います。ただ、それに対してやはり予算の話が出てくると思います。本日の説明にもありましたように、京都市の予算は非常に厳しい状況だと思います。ただ、そうではありながらもいろいろなことを考えていかないといけない。

それから、個人的に足りないと思うことは、歴史資料館としてもっとアピールをしたいと思っています。ちょっとしたことで大きくアピールするくらいのことが必要で、それをしていかないと、歴史資料館の存在感もありますし、市民や市の担当者にも響かないということもあります。頑張っていきたいと思っていますので、先生方にも引き続き御意見を賜りますようよろしくお願いいたします。

【評議委員】

京都市部局の方をお願いしたいと思います。歴史資料館単体では、やはり周知という面で難しいところがあります。京都市の同じ部局、例えば、二条城や下鴨別邸、京セラ(美術館)もありますので、そこに行って「京都市歴史資料館があるんだ。」ということがわかって、相互に来館者が増えるような、そういう取組には予算もありませんし、是非お願いしたいと思います。

それから、京都市電の企画展ですけれども、非常に近い歴史ですので、市民の皆さんも思い出があると思います。そういう思い出を語らう場があってもいいかなと思いますし、鉄道好きな方の事をテレビなどでもやっていますので、この企画にテレビ局がのってくれないかという話の持ち込みもできないか。そうすれば入館者もものすごく増えると思います。

【京都市】

ありがとうございます。広報の件ですが、そこはしっかりとやっていきたいと思っています。Facebookもございますし、いろいろな形で広報していくことは必要だろうと思っています。

また、市電展につきましても、文化財保護課や市とも連携をしながら歴史資料館でやっ

ていくということで、非常に敷居の低い企画だと思っています。その点でも、いろいろなアイデアを入れて、注目いただけるような、また来館に繋がるような企画、取組にしたいと思っています。

【京都市】

それでは、今日いただきました御意見を踏まえまして、令和3年度の運営に活かして参りたいと思います。ありがとうございました。

最後に、評議委員の改選についてでございます。市民公募の委員につきましては2年間お世話になるという規定になっておりまして、武川委員には本年度末をもちまして御退任いただくこととなっております。そこで、来年度からの委員を募集いたしましたところ、8名の御応募がありました。その中から、応募動機・意欲・積極性・論文のまとまりを評価させていただきまして、中尾様にお願いすることに決定しております。

市民公募以外の委員6名の方に関しましては、次期2年間も引き続きお世話になりたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、これにて閉会とさせていただきたいと思います。本日はどうもありがとうございました。

以上